

ブータン王国と寄居町の交流 Vol. 3

皆さんクズザンポーラ！ オリンピックイヤー特別企画「ROAD TO TOKYO 2020～ブータン王国と寄居町の交流～」の3回目は、ブータン王国が「幸せの国」と呼ばれている理由をご紹介します。



ブータン人に「幸せですか？」と尋ねると、「はい」と答える人がほとんどだと聞きます。2005年に実施したブータン王国の国内調査で、国民の約97%が「幸せ」と答えたという記録があることか

らも、ブータン人の多くの方が幸せであると感じて生活していることが伺えます。その背景にはブータン王国の国づくりの方針が大きく影響していると考えられます。

ブータン王国は長年鎖国政策をとっていましたが、1971年に国連に加盟して以来、GNP（国民総生産）よりもGNH（国民総幸福量）を基本とした国づくりを進めてきました。GNHとは、経済の成長よりも伝統的な社会・文化や民意、環境に配慮した「国民の幸福」の実現を目指す考え方を重視するというものです。先代の第4代国王が「我々の国の方針は、

国や国民のために経済的独立、繁栄、幸福を実現し国をまとめることだ」と語ったことから、ブータン王国がいかに国民の幸福を大切にしているかが分かります。

当たり前な生活を送るだけで、満ち足りて幸せと思える。そして、その幸せを家族や周囲の人と分かち合えることが、ブータン人にとっての幸せにつながり、多くの方が幸せと感じている。このようなことから、ブータン王国は世界の国々から「幸せの国」と呼ばれているのではないのでしょうか。皆さんもこの機会に幸せについて考えてみませんか。

親子De笑顔 SMILE

子育てで支援施設を利用された皆さんを中心に紹介しています。



三友 健太さん・真由子さん

ゆいき 結絹くん(2歳6カ月)・すすか 紗花ちゃん(1歳2カ月)

●子育てのポリシー

親として「教える」ことも大切です。ただ、自分で好きなものを見つけ、成長していったらいいので、いろいろなところへ連れていったり、褒めたり、応援して見守ることも大切にしています。

●お子さんが夢中になっていること

兄はお祭りが大好きです。神輿や山車についていったり、太鼓の練習に参加したりと楽しんでいました。また、2人とも電車が好きで、音が聞こえると反応し、よく電車へ向かって手を振っています。



山田 亜香里さん

りくほ 陸葉くん(5歳9カ月)・りゅうは 琉葉くん(4歳2カ月)

●子育てのポリシー

元気なあいさつ、コミュニケーションを大切にしています。「あれは何?」、「どうしてこうなるの?」という質問が多いので、子ども扱いせず、正確に説明できるように一緒に考えています。

●お子さんが夢中になっていること

長男は、ゲームやサッカーが大好き! トランプやオセロ等、最後まで集中して勝負ができるようになりました。次男は、戦隊ものやブロックが大好き! 想像力を働かせて、自分の世界に入っています。